

2021 年 10 月 23 日（土） 社会福祉センター
講 師：富 安 兆 子 氏
（高齢社会をよくする北九州女性の会代表）

あなたの人生と S D G s

第 1 回 パンデミックの時代（動物から人間へ）



1）人類による環境破壊と動物由来感染症（ズーノーシス）

さまざまな新興感染症

2019 年「COVID-19（新型コロナウイルス感染症）」はコウモリの体内で静かに暮らしていたウイルスが、中国の野生生物市場で売られていた何らかの動物を介て、人間に感染力を持つようになった動物由来感染症である。

他にも 1976 年エボラ出血熱（アフリカ・ザイール）。2003 年 SAR s（中国）。

再興感染症

1937 年確認された「西ナイルウイルス」が、2002 年アメリカ 37 州まで広がった。この自然宿主は鳥類で、その血を吸った蚊が媒介。

2015 年ブラジルを中心にジカウイルスが拡大。ゴリラやチンパンジーなどが自然宿主で蚊が媒介。

農地開発や森林破壊、野生生物の取引、売買などがこうした動物由来感染症の蔓延を引き起こした。

「IPBES（生物多様性および生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム）」（日本を含め 130 以上の国の政府が参加）によると、哺乳類や鳥類には 170 万種のウイルスが存在し 54 万～85 万種が人間に感染する能力を持っている。「感染症ホットスポットマップ（リストファクターを数値化）」によれば、西日本もリスクが高い。常緑の広葉樹林があり、土地の改変が進み温暖化で気温の上昇が見られるという 3 条件が関連している。

2) 七つの要因・・・・・・すべて人間活動の結果もたらされたもの

- ①人と物の移動形態の変化
- ②動物性たんぱく質の重要拡大
- ③持続的でない農業の拡大
- ④野生動物の捕獲と利用の拡大
- ⑤資源採掘の野放図な拡大（非持続的な天然資源の利用）
- ⑥都市化などがもたらす土地利用の変化
- ⑦気候変動

3) グローバリゼーション

社会的あるいは経済的な関連が、旧来の国家や地域などの境界を越えて、地球規模に拡大してさまざまな変化を引き起こす現象で、持続可能な地球を守るためのメリット・デメリットがあり、精査しなくてはならない。

「心ない活動が地球を痛めてきた」「受け継いだ地球がもっと悪くならないように」「便利さで自然が崩壊」「金儲けのためなら何でもしかねない」等々話された。